

令和 2 年度 学校関係者評価報告書

大阪市立歌島中学校 学校協議会

1 総括についての評価

・長年の課題であった「規範意識の育成」や「授業規律の構築」については、各種調査・アンケートの結果から、ほぼ目標通りに達成している。しかし、学力面に関しては、C 評価が目立っている。

今年度の反省を踏まえた課題を学校はしっかりと把握しており、来年度に向けた取り組みも聞くことができた。引き続き危機感を忘れることなく頑張ってもらいたい。

2 年度目標ごとの評価

年度目標：安心・安全な学校の創造

・学校評価アンケートにおける、「安心・安全な学校の創造」に関する項目についての回答を見ても、肯定的な回答をする生徒の割合が高く、安心・安全な学校としての地位を獲得していると思われる。学校は良くなってきたが、今後も危機感を忘れることなく、取り組みを進めてもらいたい。

年度目標：学力の向上

・チャレンジテストの点数から、学力面についての課題は顕著であり、解決のために学校を挙げて頑張ってもらいたい。

年度目標：健康・体力の保持増進

・全国体力・運動能力、運動習慣等調査は未実施であったが体育の授業報告から、新型コロナウイルス感染症の影響か体力の低下が見られた。体力や運動能力については、結果が直ぐに表れることはないが、継続した体力の向上プログラムを組み、取り組んでもらいたい。

3 今後の学校運営についての意見

・年度ごとに実施する各種調査結果の分析を踏まえた教育実践は具体的でわかりやすい。

また、各種調査・アンケートの結果は包括的に見て好ましい方向に向かっており、生徒の学校での様子からも、日々勉学・運動・行事に集中し、落ち着いた教育活動が展開されていると思われる。しかし視点ごとに設定した数値目標は必ずしも達成できているわけではなく、とりわけ自己肯定感や自己有用感の弱い生徒が多く、主体性の乏しい生徒が増加傾向にある。そのため、生徒の興味・関心を引き出し『わかる喜び』『できる楽しさ』といった成功体験を積み重ねることで、個に応じた基礎・基本的学力の定着とともに“主体的な学び”を獲得させるよう努めた実践は評価に値する。

今後は、歌島中学校が力を入れている「うたじまラーニングコモンズ」の使用方法を工夫し、生徒の成功体験を積み重ねさせ自尊感情を刺激しながら“主体的な学び”を育んで欲しい。

毎日実施の「まなビスタ」への参加生徒も増加しているようで、主体的な学びの姿勢が芽生えつつあると思う。引き続き学校を支援していきたい。